

しんりん くみあい だより

Vol.40
2023年
8月号

かが森林組合



巨木シリーズ 白山市吉野 (御仏供杉)

Forest

かが森林組合



ホームページアドレス
<http://www.kaga-forest.or.jp>

本所・小松支所／〒923-0181	石川県小松市長谷町ヨ244番地	TEL(0761)46-1341・FAX(0761)46-1177	050 050-3802-2464
	E-mail : komatsu@kaga-forest.or.jp		
加賀支所／〒922-0831	石川県加賀市幸町2丁目90番地	TEL(0761)72-0592・FAX(0761)72-0342	050 050-3533-3417
	E-mail : kaga@kaga-forest.or.jp		
白山支所／〒920-2321	石川県白山市吉野ケ6番地	TEL(076)255-8930・FAX(076)255-8931	050 050-3385-2045
	E-mail : hakusan@kaga-forest.or.jp		
辰口出張所／〒923-1224	石川県能美市和気町い19番地	TEL(0761)52-0456・FAX(0761)52-0457	050 050-3333-6201
	E-mail : tatukuti@kaga-forest.or.jp		
那谷工場／〒923-0336	石川県小松市那谷町金1番地	TEL(0761)65-7300・FAX(0761)65-7301	050 050-3649-7387
	E-mail : nata@kaga-forest.or.jp		

ごあいさつ



代表理事組合長 片山 健二

先般6月3日、小松市のこまつドームにおいて令和5年度通常総代会が開催され、多数の総代さん出席のもと提出した議案がすべて承認可決されました。

当日は議案審議の前に地域の組合員をまとめられ事業の推進にご尽力いただいております4名の林産組合長さんを表彰させていただきました。永年のご苦勞に心より感謝申し上げます。

さて令和2年度から「財務基盤の強化による安定した組合運営」と「那谷工場の経営改善」を目指し取り組んだ第2次経営計画の期間が終了しました。

この間、新型コロナウイルスの感染症拡大やロシアのウクライナ侵攻、ウッドショックなど社会の変化が著しく先行きを見通すことが難しい時期でありましたが役職員一同、計画的に取り組みを進めた結果、目標とした毎年の事業利益2千万円を安定的に確保することができました。

那谷工場においても目標とした年間売上高2億3千万円を達成し、事業利益も大幅にアップするなど赤字体質からの脱却にも目途が立ち、全体として目標とした経営改善に一定の成果を上げることができたと考えております。皆様のご協力に感謝申し上げます。

災害の影響が心配された令和4年度の事業状況ですが、森林整備部門では、花粉発生源対策事業を活用した皆伐・再造林に積極的に取り組むとともに集団間伐や広葉樹整備、荒廃竹林の整備を計画的に推進し前年並みの取扱高を確保しました。

販売部門でも木材の取扱量の増大や徹底した有利販売に取り組んだ結果、前年を上回る取扱高となりました。特に加工部門では製材・加工品等の生産拡大に努めると共に、南加賀木材協同組合との取引価格を見直したことより那谷工場の売り上げが前年に比べ38%増と大幅な伸びとなり事業利益も2千万円を上げることが出来ました。

事業全体では、取扱高は前年に比べ7千9百万円増の9億4千9百万円となり、事業管理費、法人税等を差し引いた当期剰余金4千3百万円余を計上することができました。

これらの利益を組合の今後の事業展開に備え任意の積立金として積み立てると共に、少しでも組合員の皆様に還元できるよう出資配当を昨年に続き2%とさせていただきました。

今後は、今回策定しました「第3次中期経営計画」に基づき更なる経営改善に取り組み、収益性の向上を図ると共に将来を見据えた新たな取り組みにも積極的にチャレンジしながら、組合員の皆様から安心して森林の経営や木材の販売を任せられる安定した組合組織となれるよう努めてまいります。

最後に日頃より当組合の運営にご理解とご指導いただいております県・市をはじめ関係諸団体、そして事業のとりまとめにご尽力をいただいております総代・林産組合長の皆様に感謝を申し上げて挨拶とさせていただきます。

通常総代会が開催されました

開催日 令和5年6月3日（土）
 場所 こまつドーム 集会室
 総代総数 246名
 本人出席 108名
 代理人出席 1名
 書面議決 85名
 議長 小松市観音下町 登橋 雅裕 様

提出議案

第1号議案 令和4年度 事業報告等承認の件
 第2号議案 令和5年度 事業計画を定める件
 第3号議案 令和5年度 役員報酬を定める件
 第4号議案 令和5年度 貸付金最高限度及び
 債務保証最高限度を定める件
 第5号議案 令和5年度 借入金最高限度を定める件
 第6号議案 定款及び定款附属書の一部変更について
 第7号議案 第3次中期経営計画について
 第8号議案 令和5年度 余裕金預入先承認の件



全ての議案について、原案通り可決・承認を頂きました。
 総代の皆様には、お忙しい中、ご出席いただき有り難うございました。



臨席者

小松市長
 石川県南加賀農林総合事務所所長
 石川県南加賀農林総合事務所森林部長
 石川県石川農林総合事務所森林部長
 小松市経済環境部担当部長兼農林水産課課長
 加賀市産業振興部農林水産課課長
 能美市産業交流部農林課課長
 白山市産業部森林対策課課長
 石川県森林組合連合会参事

宮橋 勝栄 様
 庄田 武志 様
 高田 一郎 様
 吉村源太郎 様
 山崎 由裕 様
 山岸由紀夫 様
 東 孝雄 様
 尾田 健一 様
 岡部 亮二 様

表彰者

会場では長年林産組合長を務めていただき、
 功績があった方々に感謝状を贈呈致しました。

小松市大杉町	上内 友治 様
能美市和佐谷町	谷本 外茂治 様
加賀市山中温泉坂下町	面屋 宗一 様
白山市白峰	織田 仙十郎 様



小松市大杉町
上内 友治 様



能美市和佐谷町
谷本 外茂治 様



加賀市山中温泉坂下町
面屋 宗一 様



白山市白峰
織田 仙十郎 様

第3次中期経営計画を策定しました

当組合が今後3年間に渡って取り組むべき事業の方向性と経営方針を定める第3次中期経営計画を作成しましたので、その概要を報告します。

第3次中期経営計画（令和5年度～令和7年度）の目標（経営ビジョン）

経営理念の実現を目指し、次の事項に取り組みます。

- 1) 森林整備部門と販売・加工部門の収益のバランスが取れた組合運営を目指す
- 2) 南加賀木材協同組合との連携により品質確かな乾燥「かが杉」を安定的に生産できる加工・流通拠点を目指す
- 3) 経済性だけでなく自然環境にも十分配慮した林業を目指す
- 4) 組合職員だけでなく地域の林業・木材産業関係者の就業環境の改善を目指す
- 5) コンプライアンス意識の高い組織の構築を目指す
- 6) 協力事業体とつくる労働災害を発生させない安全・安心な職場の形成を目指す

部門別中期経営計画

1. 森林整備部門

■重点目標：皆伐の推進による木材生産量の増加と着実な再造林による持続可能な林業経営を目指す

＜ 基本方針 ＞

- ①皆伐・再造林や利用間伐など、地域に応じた適切な森林整備により地域材（かが杉）の生産量を拡大し、年間売上高5億円を目指します。
- ②集落単位の境界明確化と効率的な施業により生産コストを削減し、組合員への返還金の増大を目指します。
- ③収益性と環境保全のバランスに配慮した施業を提案します。
- ④林内高密度路網と高性能林業機械の効率的な利用で安全で収益性の高い施業を目指します。
- ⑤端コロ、枝条などの林地残材の積極的な集荷による収益性の向上と綺麗な山づくりを目指します。

【 行動計画 】

重点課題	重点方策	具体的実施内容
組合員への事業内容の周知	くみあいだよりの発行	くみあいだよりの送付、林産組合長会議等での説明
事業地の確保	事業推進会・集落説明会の開催	事業推進会での説明後、集落説明会につなげる
	施業提案の提示	タブレット等も活用して分かりやすい提案書を提示
良質な地域材の安定供給	皆伐・再造林の推進	花粉症対策等の補助金を活用、再造林経費の積立
未利用材の有効利用	バイオマス燃料としての利用	林地残材の集荷システムの構築
放棄森林の増加	森林バンク制度の活用	市が発注する意向調査等の事業を積極的に受託する
環境に配慮した森林整備	森林認証制度(SGEC)の適切な運用	SGECの基準に基づいた環境にやさしい森林整備を行う
現場での災害・事故の防止	安全対策の徹底	かがみどり会による研修会やパトロールの実施

2. 販売部門（林産・製品販売）

■重点目標：組合員へより多くの還元ができるよう、最も収益が高くなる販売を目指す

＜ 基本方針 ＞

- ①組合事業と一般素材業者と合わせ、年間3万5千㎡以上の地元材の安定供給を目指します。
- ②那谷工場の柱・間柱用原木として、能登材も含め年間3千㎡以上の柱適寸材の確保を目指します。
- ③川下のニーズに応じた良質材の生産を目指します。
- ④南加賀木材協同組合に柱・間柱、ラミナ材として年間2千5百㎡以上の納材を目指します。
- ⑤林ベニヤ、ウッドリンクなど大口需要先への直送販売で安定的に年間8千㎡以上の納入を目指します。
- ⑥コマツ用バイオマスチップを年間8千t以上の納入を目指します。

【 行動計画 】

重点課題	重点方策	具体的実施内容
原木価格(A材)の上昇	良質材の確保	優良造林地での皆伐・再造林の推進
市売り価格の上昇	市売り購入者の新規開拓・確保	市売り情報の発信、隣接の市場での情報収集
大口需要先への販売価格の上昇	県森連・組合系統での価格交渉	安定供給で価格交渉を有利に
運搬経費等の高騰への対応	運送計画の見直し	中間土場を活用した輸送の最適化
バイオマスチップの収益向上	安定的な品質(含水率)と納入量	コマツとの定期的な情報交換、価格交渉

3. 加工部門（那谷工場事業計画）

■重点目標：大規模乾燥施設を持つ南加賀木材協同組合と連携し、品質確かな乾燥「かが杉」の量産化を目指す

< 基本方針 >

- ①工場全体の売上目標を3億円とし毎年、安定的に2千万円以上の利益確保を目指します。
- ②製材部門はツインバンドソーをフル稼働し、柱材・間柱ラミナ材を併せて2千5百㎡の生産を目指します。
- ③皆伐による搬出量の増大に対応するため、中間土場を活用した物流の効率化・最適化を目指します。
- ④コマツ用チップ材は含水率40%以下を確保できるよう常時6か月分以上の在庫を確保し、乾燥に心掛けます。

【 行動計画 】

重点課題	重点方策	具体的実施内容
3m柱適寸材の確保	3m材生産現場の確保と能登材の導入	現場での3m造材の徹底と能登森組との連携
材料費・生産コスト高への対応	効率が良く収益性の高い製品の生産	梁、桁など構造材の生産及び販路の確保
バイオマス用材の確保	建築用材と平衡した量の確保	現場あたりの生産量の多い皆伐等による入荷量増
人員配置	無駄のない人員配置の見直し	オペレーター、手元を含め生産量に適した人員配置
樹皮の処理	バイオマス資材としての利用	移動式チップパー機で破砕し製品として販売
市場経費の削減	市売り購入者の預かり原木対策	原木預かり料の徴収の検討
機械設備等の老朽化	業務の見直しに応じて更新を検討	メンテナンスの徹底と時期を見ての更新

総合経営計画

■重点目標：経営基盤の強化により将来的なコスト高など、様々なリスクにも対応できる安定した組合運営を目指す

< 基本方針 >

- ①利益率の向上とコスト削減により、安定した経営基盤を目指します。
- ②長期借入金の早期解消と短期借入に頼らない組合運営を目指します。
- ③役職員の経営感覚の養成と事業執行状況の見える化により経営管理機能の強化を図ります。
- ④コンプライアンス意識の高い組織を構築します。
- ⑤労働災害を発生させない安全・安心な職場を形成します。
- ⑥風通しがよく働きやすい職場環境を構築します。

【 行動計画 】

重点課題	重点方策	具体的実施内容
経営基盤の安定化	事業利益の確保による当座比率の向上	年間事業利益5億円の確保
	市中銀行からの有利子負債残高の削減	毎年1200万円の安定的な返済
	売掛金等の不良債権化の防止	常勤理事による月々の入金状況のチェック
コスト高への対応	常勤理事・管理職員のコスト意識の強化	早朝会議で毎月の事業計画・執行状況の情報共有化を図る
	月次経営分析の徹底	
	PDCAサイクルの適正実施	上記に対する迅速な改善策の検討・実施
売上の確保と経費削減	役職員全員の経営意識の向上	常に見直し・改善の意識を持って業務にあたる
コンプライアンス意識の向上		コンプライアンス委員会の設置と勉強会の開催
現場作業員の労働条件の改善と安全確保	作業経費等の支払い条件の改善と災害防止意識の啓発	作業基準の明確化、朝礼等での安全意識の徹底、組合職員とみどり会役員での現場視察
職員の就業条件の改善	昇任・昇給・給与体系の透明性の確保	組合系統での統一人事管理システムの導入

おわりに

今回紹介させていただきました第3次中期経営計画は、先の理事会での審議を経て、総代会において承認されました。組合職員は、本計画を自らの計画、目標、ビジョンとして認識し、この経営計画の中で掲げた様々な経営改善に取り組み、組合員皆様から安心して森林の経営や木材の販売を任せられる安定した組合組織となれるよう努めてまいります。

今後とも、組合事業にご理解とご協力をお願いいたします。

人事異動について

次のとおり人事異動がありましたのでお知らせします。

- 昇進（４月）** 境界管理室 青木課長が室長に昇進しました。
境界管理室 林技師が主任に昇進しました。
小松支所 北村支所次長が小松支所長兼辰口出張所長に昇進しました。
小松支所 土用下主事が主任に昇進し、小松支所に専任になりました。
白山支所 上田支所次長が本所 総務部長に昇進しました。
那谷工場 横江技師が主任に昇進しました。
- 異動（４月）** 本所 辻部長が本所に専任になりました。
加賀支所 南支所次長が白山支所に異動になりました。
小松支所 森本支所長が加賀支所に異動になりました。
小松支所 新木技師が那谷工場に異動になりました。
加賀支所 永田主任が那谷工場に異動になりました。
- 新規（４月）** 小松支所 業務課技師に宮岸 麻利江を採用しました。
加賀支所 業務課技師に嶋 龍己を採用しました。
直営作業班 河崎 莉久を採用しました。
直営作業班 猿谷 絃希を採用しました。
- 再雇用（４月）** 境界管理室 花市課長を再雇用しました。（辰口出張所兼務）
- 退職（３月）** 那谷工場 中村 達也技師が退職されました。
（５月） 那谷工場 中村 祐介技師が退職されました。
（５月） 那谷工場 西上主任が退職されました。

常勤役員

代表理事組合長 片山 健二

赤色昇進(異動)

青色異動

緑色新規

本所

参事 辻 橋 義 信
業務部長 辻 智 之
総務部長 上 田 雅 樹
総務課係長 東 奈津子

境界管理室

室長 青 木 崇
課長 花 市 和 宏
係長 松 下 規 弘
主任 林 孝 高
技師 開 地 陸

電力事業室

室長 奥 村 一 真
(兼)業務課課長 八 幡 彦
(兼)業務課係長 石 村 峻 進

直営作業班

技師 河 崎 莉 久
技師 猿 谷 絃 希

小松支所

支所長 北 村 里 外 史
業務課技師 栄 大 地
業務課技師 川 上 真 幸
業務課技師 宮 岸 麻 利 江
総務課係長 田 中 ま さ き
総務課主任 土 用 下 美 沙 子

加賀支所

支所長 森 本 修
業務課係長 石 村 峻 進
業務課主任 向 出 龍 己
業務課技師 嶋 中 ま ど か
総務課主任

白山支所

支所長 馬 場 裕 幸
支所次長 南 謙 吾
業務課課長 八 幡 一 彦
業務課技師 向 井 和 樹
総務課係長 國 見 美 智 子

辰口出張所

(兼)出張所長 北 村 里 外 史
(兼)課長 花 市 和 宏
臨時事務員 安 土 久 仁 子

那谷工場

工場長 田 中 賢 作
副工場長 田 林 友 理
総務課主任 永 大 英 賢
販売課課長 宮 野 健 吾
加工課主任 横 江 良 太
加工課技師 谷 野 卓 也
加工課技師 松 本 卓 太
加工課技師 新 木 進
作業員 上 西 太 進
作業員 田 西 彦

職員紹介



宮岸 麻利江

4月からかが森林組合小松支所に配属となりました宮岸 麻利江です。自然の中で働く事に憧れを持ち入組させて頂きました。まだまだ慣れないことばかりで自分の力不足を実感する日々ですが、少しでも早く仕事を覚え、組合員の皆様のお役に立てるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。



嶋 龍己

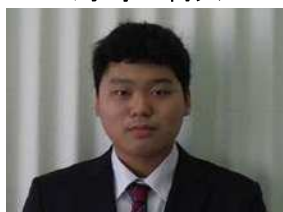
4月からかが森林組合加賀支所に配属となりました嶋 龍己です。入社してまだ2か月で分からないことばかりですが、皆さんに追いつけるよう必死に頑張りたいです。現場に行く機会も少しずつ増えてきましたが、林業に対しての知識を身に付け、少しでも組合員の方々に頼られるように一生懸命働きたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。



河崎 莉久

今年の4月より、本所の直営作業班に配属となりました河崎 莉久と申します。幼い時から、自然に囲まれた場所で育ったため、この美しい里山を維持したいと思い入組しました。

また、町内の人夫や奉仕作業にも積極的に参加したいと思っています。まだまだ、分からないことだらけですが一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



猿谷 絃希

初めまして。

今年の4月より本所の直営作業班に配属となりました猿谷 絃希です。

毎日いろいろな現場作業を教えていただきながら経験を積んでいます。

これから組合職員として頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

表紙の大木の紹介



白山市吉野工芸の里にある国指定天然記念物の御仏供杉（おぼけすぎ）です。傍の看板には由来が書いてあり、樹齢は660余年、樹高18.7mの大樹で、その樹形が仏様にお供えする「おぼくさま」のように見えるので御仏供杉と呼ばれるようになったそうです。

お近くへお立ち寄りの際は足を運ばれてはいかがでしょうか。

※吉野工芸の里

白山市吉野春29番地

営業時間：10：00～17：00

定休日：火曜（祝日の場合は翌平日）

電話：076-255-5319

総合貸借対照表

損益計算書

(単位：円)

令和 5年 3月31日現在

令和4年4月1日～令和5年3月31日

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産		流 動 負 債	
1 現金	786,005	1 買掛金	22,391,671
2 預金	189,854,962	2 短期借入金	0
3 受取手形	0	3 未払金	70,764,572
4 売掛金	51,608,834	4 未払法人税等	20,500,000
5 未収金	147,398,481	5 前受金	8,800,000
6 棚卸資産	38,829,609	6 預り金	46,140,686
7 林産勘定	181,677,019	7 仮受金	151,356,515
8 加工勘定	0	流動負債合計	319,953,444
9 治山勘定	0		
10 造林勘定	6,373,295		
11 森林環境税勘定	903,000		
12 前渡金	532,903		
13 立替金	0		
14 差入保証金	137,390		
15 仮払金	0		
16 雑資産		固 定 負 債	
① 県森連預け金	687,483	1 長期借入金	24,832,000
② 出資予約	0	2 農林漁業資金借入	0
流動資産合計	618,788,981	3 退職給付引当金	34,026,491
		4 役員退任慰労引当金	2,280,000
有形固定資産		固定負債合計	61,138,491
1 建物	53,001,563	負 債 合 計	381,091,935
2 建物附属設備	8,435,077		
3 構築物	11,015,081		
4 機械装置	5,032		
5 車両運搬具	24		
6 工器具備品	1,050,095		
7 土地	261,818,944		
8 森林			
① 所有林	7,424,622	純 資 産 の 部	
② 分収林	6,810,226	組 合 員 資 本	
有形固定資産合計	349,560,664	1 出資金	295,385,000
無形固定資産		2 利 益 剰 余 金	
1 水道施設利用権	1,090,059	法定準備金	142,000,000
2 電話加入権	408,240	任意積立金	119,000,000
無形固定資産合計	1,498,299	作業道補修積立金	5,331,840
外部出資		修繕積立金	12,168,360
1 系統出資金	56,580,000	施設整備積立金	17,000,000
2 系統外出資金	21,430,000	保育費用積立金	1,962,333
外部出資合計	78,010,000	3 当 期 未 処 分 剰 余 金	73,918,476
その他の固定資産		当 期 剰 余 金	43,804,502
1 農林漁業資金貸付		前期繰越剰余金	22,896,420
① 造林貸付金	0	特別積立金取崩額(目的内)	7,217,554
② 林道貸付金	0	資 本 合 計	666,766,009
その他の固定資産合計	0	純 資 産 合 計	666,766,009
固定資産合計	429,068,963		
資 産 合 計	1,047,857,944	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,047,857,944

科 目	金 額
I 事業総損益	
1 事業総収益	949,864,898
2 事業総費用	649,501,320
事業総利益	300,363,578
II 事業損益	
1 人件費	191,570,965
2 旅費・交通費	3,909,262
3 事務費	9,102,499
4 業務費	4,438,468
5 諸税負担金	9,986,940
6 施設費	22,768,354
7 雑費	3,289,820
事業管理費計	245,066,308
事業利益	55,297,270
III 経常損益	
1 事業外収益	6,643,993
2 事業外費用	303,864
事業外損益	6,340,129
経常利益	61,637,399
IV 特別損益	
1 特別利益	2,888,459
2 特別損失	221,356
特別損益	2,667,103
税引前当期剰余金	64,304,502
法 人 税 等	20,500,000
当 期 剰 余 金	43,804,502
前期繰越剰余金	22,896,420
作業道積立取崩	7,217,554
当期未処分剰余金	73,918,476

剰余金処分案

科 目	積 算 内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金			73,918,476
II 任意積立金取崩額			
III 剰余金処分額			
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1以上	8,800,000	
2 任意積立金			
作業道補修積立金		2,500,000	
保育費用積立金		2,500,000	
修繕積立金		10,000,000	
施設整備積立金		10,000,000	
3 出資配当金	払込済出資金の2%	5,869,730	39,669,730
IV 次期繰越剰余金			34,248,746

出資配当金は昨年と同率の払込済出資金の2%とさせていただきます。